

2019年度  
活動報告書

(活動期間：2019年4月1日～2020年3月31日)



明治学院大学同窓会

## ご挨拶

### 第5期大学同窓会を終えて

明治学院大学同窓会

第5期会長 中野 薫



会長に就任してあっという間の3年が過ぎました。大学同窓会の活動の二本柱である「同窓生の親睦・交流」、「現役学生への支援」のテーマを軸に同窓会活動をより実践的に展開してきた3年間であったと思います。

例年白金キャンパスで開催してきた「現役学生・同窓生交流会」を、2019年度は初めて横浜キャンパスで「横浜国際学会」と共催できたことは、大学同窓会としては同窓会活動の大きな一歩だったと思います。

同窓会活動は白金キャンパスが中心になりがちなのですが、横浜キャンパスは開校から35年が経ち、国際学部生は4年間横浜キャンパスで勉学やサークル活動に励んでいる歴史があるわけです。大学同窓会としては横浜キャンパス現役学生・国際学部同窓生と連携して何か同窓会活動を展開できないかと模索してきました。

「横浜国際学会」は国際学部の同窓生・現役学生・教職員で構成されている団体です。白金とはまた違ったグローバルでユニークな同窓生や学生たちと交流ができたこと、とても嬉しく思います。具体的には「キャリア応援イベント in 横浜キャンパス」を開催したのです。若手国際学部同窓生の相談員が多数学生たちのために集まってくれました。また過去交流会運営を担ってくれた公認4団体の同窓生も参加してくれ、横浜・白金のオール明治学院の交流と連帯が果たせたのではないかと思います。

そして白金祭では大学同窓会主催「LIVE&CAFE」がすっかり定着し、音楽サークルや落語研究会・演劇研究部の学生たちの協力、同窓生のバンドの出演などを通してオール明治学院の交流を深めてくれています。カフェ、バザーの売上金も毎年ボランティアセンターに寄付することができて、同窓生の皆さんに感謝申し上げる次第です。

また「オール明治学院校友会構想」プロジェクトは、明治学院同窓会、大学校友会、各関係者との意見交換を重ねておりますが、課題点など具体的に出てきており実現は近いと思われます。

各サークル・クラブOB会、職域同窓会、各学部ゼミ・OB会、年次同窓会、本部同窓会各支部の連帯が現在構築中ですので、オール明治学院校友会実現はやっと果たせるのではないのでしょうか。

私は大学同窓会を離れてもこのプロジェクトには実現まで参画していきますので、ご協力の程よろしく願いいたします。

同窓生の皆様、そして明治学院関係者皆様のご支援を賜わり無事3年間を務めさせていただきました。長い間ありがとうございました。今後とも「Do for Others」を肝に銘じ、明治学院同窓会活動を同窓生・学生たちのために活動していきたいと思っております。

ご挨拶

## 明治学院大学同窓会 会長就任にあたって

明治学院大学同窓会

第6期会長 山本 好政



この度、中野薫会長の後を受け、2020年4月より第6期会長を務めさせていただく1980年文学部英文科卒業 山本好政です。

2005年以後、大学同窓会の運営に携わった各期会長、運営委員の方々の後を引き継ぐと思うと、責任の重さをひしひしと感じます。任された3年間、仲間の協力のもと、務め上げたいと思っております。

中野会長の広い知識、人脈を生かし、大学同窓会の二本柱である「同窓生支援」「現役学生支援」を成功に導いた姿を実感した3年間でした。

特に現役学生支援に関しては、初めて横浜キャンパスに於いて国際学部との交流会、キャリア応援イベントを開催し、新たなる親睦を深めることができました。

我々第6期運営委員としては、引き続き「同窓生」「現役学生」支援をテーマとし、より充実した活動をしていきたいと思っております。

又、現在進行形であります「オール明治学院校友会」の実現に向け、各組織の皆様と協力し、共に取り組んでいきたいと思っております。

第6期は11名の新しい運営委員が加わり、旧運営委員と合わせ20名で新たなる3年間をスタートします。

これからも皆様のご指導、ご協力をいただきたくお願い申し上げます。

## I 活動の概要

2019年度明治学院大学同窓会の活動は、基本方針である「同窓生の親睦・交流」、「現役学生への支援」を第5期の集大成として明確に打ち出せた年度であった。

今年度は、明治学院同窓会が主催する3年に一回のホームカミングの年にあつたため、大学同窓会の活動重点項目の一つである「現役学生・同窓生交流会」の開催を見送ろうとの意見もあった。しかしながら、第5期の課題であった横浜キャンパスでの同窓会イベントの実現を図るため、「キャリア応援イベント in 横浜キャンパス」を「横浜国際学会」と共催に踏み切った。

横浜キャンパス開校35年の歴史の中、同窓会イベントは何があつたのだろうか？国際学部は4年間横浜で学生生活を過ごしている。我々白金しか知らない同窓会メンバーが横浜に通い、同じ明学スピリッツ「Do for Others」を横浜キャンパスや戸塚駅前で体現し、国際学部同窓生・現役学生・教職員と議論しながら実現にこぎつけた。国際学部30周年を機会に「横浜国際学会」は誕生したようだ。イベント当日は国際学部の同窓生相談員、白金からも多くのOBが横浜の学生のために駆けつけてくれた。

白金キャンパス中心になりがちな同窓会イベントが多い中、横浜キャンパスでの開催は大きな足跡を残せたのではないだろうか。今後も継続していく所存である。

この「キャリア応援イベント」は3回目の開催となったが、3年前の学生がこのイベントのきっかけで就職し、OB相談員として帰って来てくれている現象は誠にうれしい限りである。

もう一つの活動重点項目である白金祭への参加である「LIVE&CAFE」の出店は、すっかりと学生・父兄・同窓生に定着し、白金祭のオアシス的な存在になったと言えるのではないだろうか。学生音楽サークルの出演をはじめ、演劇研究部の司会、舞台技術研究会の協力などの現役との連携、同窓生グループのパフォーマンスなど3日間の濃密なイベントを展開できた。またカフェの事業収益は明治学院大学ボランティアセンターを通じて、被災地等でボランティア活動に取り組む明学生の支援に充てられている。

そして同窓生団体への支援として、サークル・クラブOB会・職域同窓会への支援や周年行事への協力をおこなった。希望する団体には明治学院大学同窓会旗の贈呈をおこなった。

今年度は、競技ダンス部70周年、離島研究会55周年、スポーツ愛好会60周年、舞台技術研究会50周年、軽音楽研究部L.M.C60周年、応援団70周年をお祝いさせていただいた。

他にもホテル白金会など職域同窓会との交流を展開しながら、大学同窓生との連帯をより一層強化し、学部学会や同窓会と連携し、近い将来にオール明治学院校友会へ向けて実感できた一年間だと言えるのだろう。

## Ⅱ 主な活動

### Ⅰ. 「同窓生の親睦・交流」と「現役学生への支援」

#### (Ⅰ) 白金祭 LIVE & CAFE 参加

2019年度の白金祭は2019年11月1日(金)から3日(日)までおこなわれ、大学同窓会は例年通りパレットゾーン1階でLIVE&CAFEを催しました。

ライブの出演者は、クラシックギター研究会、管弦楽団、マンドリンクラブ、Acoustic Mindsの学生団体が2日間にわたって演奏してくれました。また、同窓生団体はマイカイクラブバンド、ユーノカンパニーという新しい出演者に加え、ave volando、うまかしゅう、グリーンリーヴス OB 会合唱団、山川貢平(ギターソロ)というお馴染みの団体に参加していただき、バラエティに富んだ楽しいライブになりました。また、舞台技術研究会の皆さんや、今年MCを担当してくださった文連会執行部副委員長でAcousticMindsの由井百花さんと演劇研究部の三浦瞬さんたちにサポートしていただき、現役学生と同窓生が力を合わせて盛り上げたLIVE&CAFEになりました。

カフェの方は、お天気や日取りにも恵まれ、コーヒーを少しグレードアップさせた効果もあったのか、いつもの年よりも売上げが伸び、嬉しい結果となりました。この収益(57,900円)は寄付金(1,506円)と共に、ボランティアセンターに寄付させていただきました。



カフェの雰囲気



マンドリンクラブ



ave volando



マイカイクラブバンド



グリーン・リーヴス OB 会合唱団

## (2) 2019年度交流会・キャリア応援イベント in 横浜キャンパス

### 【キャリア応援イベント】

「キャリア応援イベント」は、「現役学生・同窓生交流会」の一部として現役学生の就職活動支援、同窓生同士の情報交換などを目的に開催しており、今年で3回目を迎えました。業種別に分かれての相談会と、相談会延長戦と卒業生同士の交流を意図した懇親会を柱におこなっています。従来は白金キャンパスにておこなっていましたが、今回は初めて横浜キャンパスを会場とし、YISA（横浜国際学会）との共催にて2020年1月25日(土)におこないました。

相談会は11時より8号館1階インターナショナルラウンジにて、相談会同窓生38名、現役学生約50名が一堂に会しておこないました。戸谷YISA会長（国際学部長）による開会挨拶、新井キャリア応援イベント担当委員長の趣旨説明ののち、2回の席替えにより多くの同窓生・現役学生それぞれの話を聞けるように工夫しました。同窓生が熱心に語りかけ、現役学生が聴き入る姿が印象的でした。



相談会の様子



熱心に先輩と語る学生たち

### 【懇親会】

次いで、会場をクラララウンジへ移し、懇親会をおこないました。竹尾 副学長、戸谷 YISA 会長、秋月教授、高原教授、原田校友センター長ご臨席のもと、中野大学同窓会長の開会挨拶・乾杯発声から始まりました。その後、同窓生同士、同窓生と現役学生との活発な交流はもちろん、同窓生及び現役学生によるアピールもおこなわれ、大変盛り上がりました。

予定の2時間はあっという間に経ち、竹尾副学長の閉会挨拶をもって、盛況のなか、お開きとなりました。



盛り上がった懇親会→

### (3) ボランティアセンターへの寄付

今年も白金祭「ライブ&カフェ」の売上金¥57,900 と寄付金¥1,506、合計¥59,406 をボランティアセンターに寄付することができました。

パレットゾーン1階特設会場で開催するようになって5回目の今回は、AcousticMinds・管弦楽団・マンドリンクラブの現役学生たち、そして同窓生によるバンド演奏など3日間熱いライブが繰り広げられました。

司会を担当してくれた AcousticMinds の由井百花さんと演劇研究部の三浦瞬君からボランティアセンターに寄付する趣旨の説明もあり、お客様にご理解の上ライブを楽しんでいただけたと思います。

ボランティアセンターは本学創設者のヘボン先生の教育理念「Do for Others(他者への貢献)」を具現化している教職員の方々や学生たちの組織です。<https://www.meijigakuin.ac.jp/volunteer/>

私たち大学同窓会も少しでも学生たちのボランティア活動を支援できればと行動しています。

次年度以降も更なる支援を企画し、ボランティア活動を活発化していきたいと思います。



中野大学同窓会会長と杉山理恵子ボランティアセンター長

## 2.同窓生・学生団体・学院行事への参加

2019年度は以下の行事に参加および支援をしました。

- ① 戸塚まつり
- ② 2019年ホテル白金会
- ③ 競技ダンス部70周年記念パーティ
- ④ 離島研究会55周年記念式典
- ⑤ スポーツ愛好会60周年記念式典
- ⑥ ホームカミング2019
- ⑦ 関東大学ラグビー対抗戦入替戦
- ⑧ 舞台技術研究会50周年記念式典
- ⑨ 応援団「白金の集い」
- ⑩ YISA（横浜国際学会）総会
- ⑪ 軽音楽研究部L.M.C「創部60周年記念OB会」
- ⑫ 応援団創団70周年記念パーティ



## ①戸塚まつり

2019年5月26(土)～27日(日)、戸塚まつりが開催されました。戸塚まつりとは、1998年から始まった横浜キャンパスでおこなわれる学園祭で、「環境・福祉・国際」という3つの柱を大切にしながら、大学と地域の方々が協力して創り上げています。2日間の来場者は約6000名で、9割が戸塚区民で、出店では7割が地元の方々とのことです。

その「環境・福祉・国際」の三本柱を具現化するため、戸塚まつりでは、たくさんの取り組みをおこなっています。その代表例が、RRP (Re. Repack Project)です。模擬店でリ・リパックというフィルムをはがすだけのリサイクル容器を使用しています。使用済み容器をRRPテントへ持って行くと、50円を返金してくれます。そのテントはキャンパスのあちらこちらに設置されているため、容易に協力することができます。模擬店で売られている料理には、RRPの食器代50円が含まれています。



①RRPの様子



①フリーマーケット

### ■フリーマーケット

横浜キャンパスチャペル前でおこなわれました。地域のかたと大学関係者が出店しており、素敵な商品を手に入れるだけでなく、物を通した人との出会いが多く見られました。

### ■ステージパフォーマンス

C館前(生協食堂前)にておこなわれました。さまざまなジャンルのパフォーマンスが繰り広げられたなかで、「Break Jam」が圧巻でした。複数のグループが、「HIPHOP」「POP」「LOCK」等のジャンルで、キレイレのダンスを披露してくれました。炎天下にもかかわらず、多く人がその演舞に見入っていました。(写真は黄色い声援が飛ぶ「Break Jam」)



←①パフォーマンス

## ■持ち込み企画：明治学院大学 国際学部 高原ゼミ

展示系の企画で印象に残ったのが、高原ゼミのコーナーです。「めんそーれ!!沖縄へ ~校外実習報告~2019」というテーマで、ゼミ生が行った沖縄での平和学習の様子を展示していました。なかなか知られていない「佐喜眞美術館」（丸木位里・俊さんが描かれた「沖縄戦の図」が所蔵されています）について触れる等、さすが国際学部だなと感じました。

戸塚まつりは、地域と大学が協力して創り上げている、子どもから大人まで楽しめるすばらしい学園祭でした。心がとても温かくなりました。ほっこりしました。みなさんも感じてみませんか、懐かしさと心のぬくもりを。

## ②2019ホテル白金会

2019年8月30日(金)、第28回目のホテル白金会がホテルグランドパレスで開催されました。

同会はホテルを中心にしつつ、幅広くホスピタリィー産業に従事している卒業生の情報交換をしたり、親睦を深めたりするために1992年に発足した歴史ある組織です。

当日はホテル白金会 西原会長の開会にあたっての挨拶、明治学院大学同窓会 中野会長のご祝辞、明治学院同窓会 竹越会長の乾杯のご発声で、懇親パーティーが始まりました。

今年は、九段下の老舗ホテル最上階のフレンチレストランと鉄板焼レストランが会場となりました。鉄板焼コーナーでシェフが目の前で作りあげる料理を中心にとっても贅沢なメニューの数々が提供され、美しい都心の夜景とともに、参加者の同窓生は日頃の成果や苦勞を語り合いました。

また、ここ数年の傾向ですが、若い同窓生の参加者や初めての参加者も増えております。そんな皆さんが、大先輩の中にどんどん入って、会話をしているという、頼もしくも微笑ましい様子を多く目にしました。同じ地で学んだということで、不思議と距離が縮まるという経験をされた方は少なくないかと思いますが、まさにこのようなことなのだろうと思います。

ホテル白金会は新しいメンバーをいつでも歓迎しております。ホテル、レストランをはじめホスピタリィー業界で働く同窓生の皆様、ぜひ大学同窓会までご一報頂ければ幸いです。

(ホテル白金会 根岸淳二)



②盛り上がった懇談



②全員で記念撮影

### ③競技ダンス部70周年記念パーティ

2019年10月13日(日) 白金校舎さん・サン広場にて開催しました。

数日前より台風19号の報道が続く中、開催について実行委員メンバーは悩みましたが、楽しみにしてくださっていた方も多く、実施に踏み切りました。当日は台風一過の快晴。交通機関の復旧も予想より早く、現役を含めた約150名の方の参加でした。当初の参加予定は175名でしたので、ほとんどの方が交通条件の悪い環境の中来場して下さったことになります。

ショータイムは統一全日本戦チャンピオン庄司浩太(東大OB)・名美(明学OG)組を始めとする明学舞踏研究会(旧名称)出身者、日本ダンス界にて活躍している豪華プロメンバーでおこないました。そして今回は他大学約25校のOBOGも参加して下さり、多くの方が一緒にダンスタイムを楽しんでいただきました。

現役メンバーにとってもOBOG会発足以来最大規模のイベントに立ち会い、今後の部の活動・運営に良い刺激となり、またモチベーションアップにつながったと思います。昨年4月に体育会に加盟。名称を競技ダンス部に変更しました。これからの更なる現役の活躍をOBとして支援し、また期待していきたいと考えています。

(競技ダンス部 繁田徹)



③美しい立ち姿



③ダンスタイム

#### ④離島研究会55周年記念式典

2019年11月3日(日)、大学の最寄り駅の一つである品川のTKPガーデンシティ品川にて「離島研究会55周年記念式典」を開催いたしました。白金祭の最終日と重なり、久々の母校を懐かしむひと時も味わうことができ、来賓と現役も含め79名の方が参加されました。

当日は、55代主将の挨拶から始まり、来賓の協議会会長の挨拶、OBの挨拶、出席年長者の乾杯、現役の自己紹介、OBと現役の歓談、閉会挨拶、集合写真の撮影と無事に終わることができました。無事終わることができたのは、皆様方のご協力の賜物だと感謝いたします。

出席者全員の集合写真では、明治学院大学同窓会の方からいただいた旗と一緒に撮影し、離島研究会一同、喜んでいました。ありがとうございます。

次回は60周年とより大きな会になると思いますので、皆様のご参加を楽しみにしております。

(離島研究会 大原里緒)



④全員での記念撮影

## ⑤スポーツ愛好会60周年記念式典

2019年11月16日(土) 東京都品川区にあるゲートシティ大崎のザ ブッフェ スタイル ロオジで「スポーツ愛好会60周年記念式典」を開催致しました。

多勢のOB、OGの方々にご来場いただき、来賓、現役も含め約90名が参加されました。

当日は 名誉会長挨拶から始まり、第60代主将挨拶、執行代の紹介、同窓会の方の挨拶、出席年長者の乾杯、OBと現役の歓談、近況報告、時期執行代主将挨拶と無事式典を終えることができました。無事成功で終えることができたのは、協力いただいた皆様のおかげでございます。感謝致します。

同窓会の方々からいただいた 記念旗と撮影しました。スポーツ愛好会一同喜んでおります。感謝致します。

次回の65周年記念式典も大きな会となると思いますので、多勢のご参加楽しみにしております。

(スポーツ愛好会 廣瀬巧巳)



⑤同窓会旗とともに

## ⑥ホームカミング2019

2019年11月16日(土)明治学院同窓会主催の「ホームカミング2019」が開催されました。

13:00から記念館小チャペルにおいて「記念礼拝」がおこなわれました。

司式・説教は学院牧師の北川善也先生、パイプオルガン奏楽は音楽主任の長谷川美保先生による厳かな祈りの時を持ち、「明治学院大学チャレンジ奨学金基金」への献金も捧げられました。

14:00からは、室内楽コンサートがアートホールにおいておこなわれました。国際学部教授の半澤朝彦先生が主催する「明治学院コンサートシリーズ」のメンバーによる室内楽を楽しみました。

バイオリンは森田綾乃さん、波多野真里菜さん、ヴィオラが柘植藍子さん、チェロは半澤先生が演奏されました。演奏曲は、メンデルスゾーン弦楽四重奏曲作品81～「主題と変奏」「スケルツォ」、紺野陽吉(安藤久義補筆)弦楽三重奏曲、そしてJ.S.バッハ カンタータ147番「主よ、人の望みの喜びよ」では、明治学院大学グリークラブ現役・OBの合唱も加わりました。音響の良いホールでの素晴らしい演奏に癒されました。

懇親パーティーは15:00からパレットゾーンでおこなわれました。司会は松本奈々さん(19年大学文学部仏文科卒)。ご来賓挨拶は大海龍生明治学院財務理事、加畑慎一明治学院大学校友センター課長。竹越浩一明治学院同窓会会長による挨拶の後、中野薫明治学院大学同窓会会長の乾杯で幕が開きました。

途中OBのジャズシンガー西村協さんのコンサートでは、学生時代を思い出す懐かしいメロディーで大いに盛り上がりました。また地域支部の同窓生による「名産品コーナー」「日本酒試飲コーナー」も設けられ大勢の人が集まっていました。

そして「同窓会歴史グッズ」が当たる抽選会で盛り上がり、写真撮影、校歌斉唱へと続きました。森野光生明治学院中学・東村山高等学校同窓会長による指揮に合わせて、皆の心が一つになりました。

最後に林斯良明治学院同窓会企画・情報委員長による閉会の挨拶でお開きとなりました。

懐かしい友と語り合ったり、新しく知り合った人と話をしたら共通の思い出があったり「同窓会っていいな」と余韻を残して散会となりました。



⑥名産品コーナー



⑥盛り上がった懇談風景

## ⑦関東大学ラグビー対抗戦入替戦

2019年12月7日(土)雪が散らつくような寒空のもとラグビー部が今シーズン対抗戦Bグループの2位となり、Aグループ7位の青山学院大学との入替戦をワールドカップの会場で盛り上がった熊谷ラグビー場で戦った。まず、過去の戦歴を記すると、2013年の入替戦ではAグループ7位の成蹊大学に勝利し、Aグループに昇格したものの、2014年シーズンでは早稲田大学、明治大学、筑波大学に100点ゲームの苦汁を飲まされ最下位の8位。その年の入替戦では日体大にも敗れ、Bグループへ降格。それ以降、2017年以外は毎年入替戦に挑んでいるが昇格できず。2012年のシーズンでもAグループの青山学院大学と入替戦を戦ったが、15-63で負けている。今年の分析をすると30点差前後の敗戦であれば上出来である。青山学院はAグループの早稲田、明治、帝京他に揉まれ、ゲームプランも巧者であることが挙げられる。明治学院大学がこの勝利を勝ち取るには、ラグビー日本代表がダブルタックルで相手にゲインさせなかったようにディフェンスを固めること。低いスクラムを組み押されないこと。ラック・モールではフォワードが早く集散すること。キックを多用し、エリアを効率良く使い敵陣でのプレーを続けること。そして、いちばん大事なところはこの試合に勝つんだという気迫。その気持ちをより強く持ったチームが勝利を掴む。両チーム先発メンバーの体格差は下記参照。

明治学院 FW(平均身長 174 cm、平均体重 94kg) 青山学院 FW(平均身長 178 cm、平均体重 97kg)

明治学院 BK(平均身長 169 cm、平均体重 71 kg) 青山学院 BK(平均身長 173m、平均体重 80kg)

前半は体格差をカバーすべく、早いディフェンスで明学ペースのゲーム展開となるも徐々にタックルが甘くなり、前半終了間際に2本返したが、12-28で、青山学院リード。後半も始まって7分で青山学院に立て続けに2本取られ、その後、明治学院も奮起し3本返すが、攻撃面の単調さとタックルが高くなってしまい、青山学院を止められずノーサイド。結果、33-54で昇格ならず。完敗ではあるが想定を下回る21点差だったことは現環境下のなかで選手は頑張ってくれた。

観戦ではOBのみならず大学関係者・明治学院同窓会・同窓会埼玉熊谷支部・選手出身高校関係者・ラグビー部保護者会他多くの方々に応援していただき、ご期待に添えることはできませんでしたが、この場を借り厚く御礼申し上げます。今シーズンは1年生、2年生の活躍が目立ったことから、来年度も勉学とラグビーに取り組む真摯な姿勢を自ら課し、入替戦出場とともにAグループ昇格を目指してもらいたい。



⑦がっちりスクラム

青山学院大学		関東大学ラグビー		明治学院大学	
対抗戦A・B入替戦					
2nd 1st		T		1st 2nd	
4	4		2	3	
3	4	@	1	3	
0	0	PT	0	0	
0	0	PG	0	0	
0	0	DG	0	0	
26	28	Score	12	21	
54	Total		33		

REF 平栗 大士

⑦ノーサイド

## ⑧舞台技術研究会 50 周年記念式典

2019年11月9日(土)、ホテル雅叙園東京 シリウスの間にて、舞台技術研究会 50 周年記念式典が執りおこなわれました。OB・現役合わせ約 100 名が参加する盛大な式典となりました。

明治学院大学同窓会様からいただいた旗の披露の後、現会長からの乾杯の挨拶、しばしの歓談、各年代毎の OB・現役へのインタビュー、過去に当会主催イベントに出演いただいた南こうせつ様・イルカ様からのご祝辞、動画を用いた現役の活動報告、演出課、照明課、PA 課、装置課・アナウンス課の 4 グループに分かれての記念撮影、次期執行代会長からの締め挨拶と無事に終えることができました。

OB・現役が共に過去と現在の舞台技術研究会への理解を深めながら交流をすることができる、大変有意義な式典になったと感じます。

次回は 55 周年記念式典となります。皆様の御参加を楽しみにお待ちしております。

(舞台技術研究会 鎌滝留菜)



⑧同窓会旗とともに



## ⑨ 應援團「白金の集い」

2019年11月17日(日)港区立高輪区民センター区民ホールにおいて應援團と港区高輪区民センター共催の「白金の集い」が開催され、観覧してきました。

これは、應援團が1966年からおこなっているチャリティーショーで今年で54回目となっています。この催しの入場券売り上げは、全額、以下に寄付されるそうです。

① 日本障がい者スポーツ協会

② あしなが育英会（事故等で親を亡くした子供たちを支えるNPO）

※ピョンチャン、ソチのパラリンピック日本選手団の壮行式に應援團は招かれています。

應援團の演技の他に、学内サークル3団体が出演し、また、港区高輪地区で活動している地元の人達のコーラスもありました。應援團、リーダー部、チアリーディング部、ブラスバンド部の迫力に圧倒されました。

次回、皆様も是非体感してください。「白金の集い」が今後も続いて開催されるを祈念します。



⑨ 迫力ある應援團

## ⑩YISA(横浜国際学会)総会

2019年12月7日(土)に横浜キャンパスにて、YISA(横浜国際学会)総会が開催されました。

2016年に創設されたYISAは、「国際学部および大学院の在學生、卒業生、教職員相互の協力・協働、および相互交流を促進することによって、在學生の自主的学習・研究活動の活性化と、卒業生の社会諸分野における活動の充実を図り、ひいては学部創設理念として掲げる平和な世界の建設に貢献することを目的とする。」(YISA規約一部抜粋)組織です。大学同窓会はこのYISAとの共催で、2020年1月25日(土)に、「キャリア応援イベント」を横浜キャンパスにて初めて実施する計画を進めています。その縁で、YISA総会へ参加しました。

当日は、講演会・総会(会場:8号館 822番教室)、懇親会(会場:8号館 インターナショナルラウンジ)の3つのプログラムでおこなわれました。

まずは国際学部卒業生2名による「自分らしいキャリア」をキーワードにした講演がおこなわれました。

1)「キャリアプランはなくていい!? 偶然を活かす、自分らしいキャリアのを見つけ方、チャンスの掴み方」 講師:99K 鎌田薫さん

鎌田さんは、いろいろな人との縁により、複数の会社でキャリアを積み、海外で育児をするなかで、さらにさまざまな人と出会い、たくさんの学びを得ました。これらを踏まえて、パラレルワークを進めています。ご自身のこれまでの経験を、「計画された偶発性啓発理論」に置き換えてわかりやすく説明されたのが印象的でした。

2)「チェンジの扉~願う未来を作るのは私たち」 講師:94K 白木朋子さん

世界の子どもを児童労働から守るNGO『ACE』事務局長である白木さんは、学生時代に研修で訪れたアジア各国の厳しい状況を的当たりにしました。そこで、児童労働から子どもたちを守るための組織を大学3年のときに立ち上げ、育児・家事を両立しながら、今も取り組みを進めています。社会貢献やボランティアというのは、「してあげている」という気持ちになりがちですが、白木さんとはそうではないと明言されていました、とても共感できる言葉でした。

次に総会が開かれ、活動方針、決算・予算等が承認されました。

最後に、懇親会が開催されました。在學生・卒業生・教職員間の交流が活発におこなわれ、国際学部のエネルギーを感じました。特に、卒業生の就活や会社での体験を、熱心に聞く在學生の姿が印象的でした。



⑩懇親会での交流→

## ⑩明治学院大学軽音楽研究部 L.M.C. 「創部 60 周年記念 OB 会」

10月の台風19号の影響で延期していた軽音楽研究部OB会を2020年1月12日（日）五反田Live Cafe & Bar ROCKYで開催することができました。75年から85年入学生約50名、現役時代から懇意にいただいている明学小劇場OBの皆様、大学同窓会会長中野様にもご参加いただき、懐かしくも盛況な集いを持つことができました。

開会の挨拶、乾杯の音頭につき、同窓会会長から同窓会旗贈呈によるフラッグセレモニーがおこなわれ、その後食事、歓談による世代を超えた親睦を深めることができました。

今回は、音楽系サークルOB会として是非Liveを！との企画で、過去白金祭で出店していた“Live House BETTYの復活”をテーマにいくつかの有志バンドによるエネルギッシュな演奏が繰り広げられ、大盛況の中、非常に楽しい時間を共有することができました。

若く、熱い時代の礎を提供してくれた明治学院大学に感謝し、再び会えることを約束し閉会となりました。ご参加いただいた方々、当OB会開催に協力いただいた方々に御礼申し上げます。

（軽音楽研究部 L.M.C. 千本木則博）



⑩同窓会と記念撮影



⑩盛り上がったライブ

## ⑫ 應援團創団70周年記念パーティ

卒業生・在校生約130名の出席のもと、明治学院大学應援團創団70周年記念パーティーが2020年1月11日(土)に八芳園にておこなわれました。

明治学院大学應援團は1949年に創団された歴史ある應援團、リーダー部・チアリーディング部・ブラスバンド部の3部で構成されています。現在約40名の団員がおり、非常に活発な活動をしています。

最近では、2019年11月に54回を数える「白金の集い」(演舞披露)を開催しました。また、全日本学生應援團連盟第69回連盟記念祭に参加し、演技を披露しました。さらに、チアリーディング第31回全日本学生選手権大会では應援團部門第3位と、優秀な成績を収めました。これまで様々な試合や競技にて選手を励まし、勇気を与えてくれました。應援團の演舞で勇気をもらい、試合に勝てたという卒業生も少なくないかと思えます。

パーティーは、明治学院校歌斉唱から厳かに始まりました。ついで、大石尚彦 應援團OB会長(大学同窓会副会長)、亀ヶ谷純一 應援團顧問、菅原文憲 全日本学生應援團連盟会長、中野薫 大学同窓会会長による挨拶がおこなわれたのち、黒子靖道 第13代団長による乾杯がおこなわれ、祝宴に入りました。祝宴では、卒業生と在校生の活発な交流が見られました。社会人の先輩である卒業生の話はどれも興味深いようで、熱心に聞き入る在校生の姿が印象的でした。また、在校生から今の明治学院大学の状況を聞いて感心している卒業生を見て、ほほえましく思えました。

祝宴後半では、在校生による演舞が披露されました。強さと美しさを兼ね備えた女性団長のリードによる一枝乱れぬ動きに大変な感動をおぼえました。また、卒業生と在校生がコラボした演舞もおこなわれました。キャリアは重ねていても、そこは鍛錬してきたOB・OGです。その動きはビシッと決まっておりました。

あっという間に過ぎ、応援歌の合唱、鈴木徹実行委員長による閉会挨拶でお開きとなりました。



⑫ パーティの様子



⑫ 演舞披露

### Ⅲ 広報委員会

昨年同様、主にホームページを通じて大学同窓会が関わるさまざまな情報を中心に発信しました。

ただ、ホームページのみだと閲覧者がなかなか増えないということもあり Facebook、Twitter と連動させて3年目、少しずつではありますが同窓生の皆様に周知されるようになってきたところです。

幅広い年代の同窓生に大学同窓会の活動を知っていただくために、今後は Instagram や LINE など活用することを視野に入れて、広報活動ができれば、と考えます。



← 現役学生・同窓生交流会



第5期・第6期運営委員→

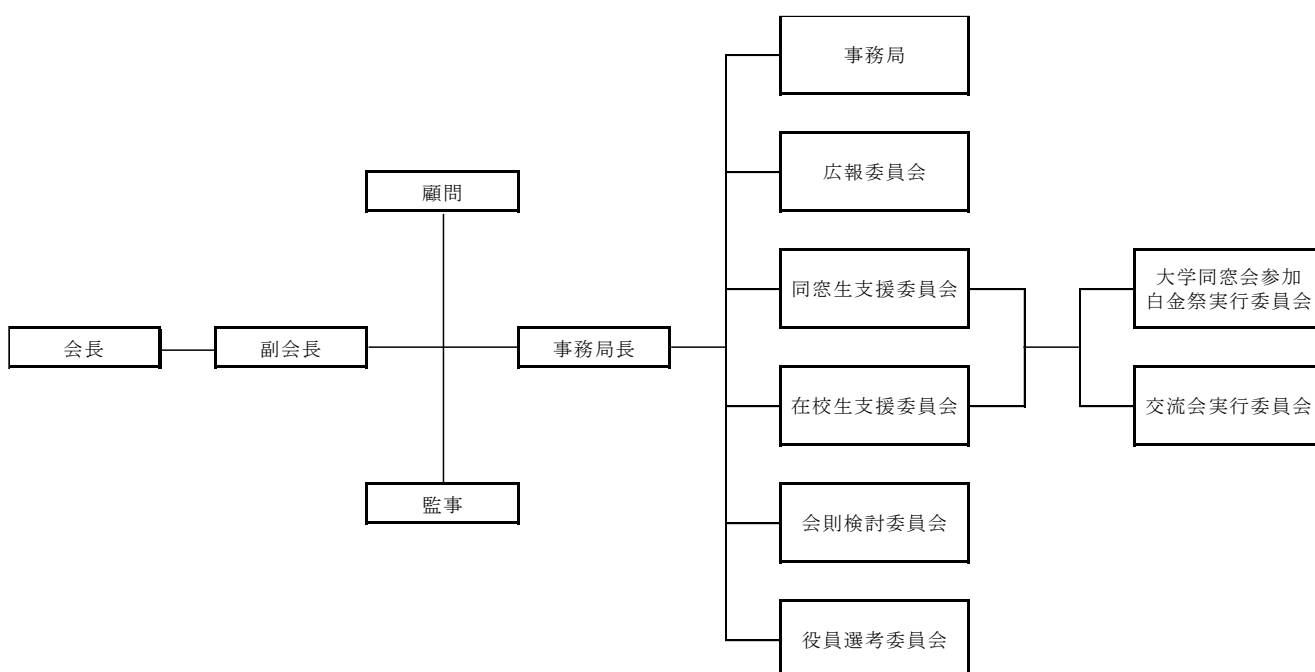
## IV 運営委員会

### (1) 運営委員会の開催

定例委員会は、大学入試期間の2月及び夏季の8月を除き、原則として第一火曜日に開催した。また三役会や白金祭実行委員会を必要に応じて適宜開催した。

回数	委員会	開催日	出席人数
1	第134回運営委員会	2019年4月9日	14人
2	第135回運営委員会	2019年5月7日	13人
3	第136回運営委員会	2019年6月4日	13人
4	第137回運営委員会	2019年7月2日	15人
5	第138回運営委員会	2019年9月3日	15人
6	第139回運営委員会	2019年10月1日	15人
7	第140回運営委員会	2019年11月5日	14人
8	第141回運営委員会	2019年12月3日	14人
9	第142回運営委員会	2020年1月7日	13人
10	第143回運営委員会	2020年3月3日	18人

### (2) 2019年度の大学同窓会運営委員会組織図



### (3) 第5期運営委員会役員及び実行委員会体制

運営委員 18人

- ★会 長 中野 薫
- ★副会長 大石 尚彦
- ★副会長 藤森 智子
- ★副会長 新井 明子
- ★監 事 吉田 順治
- ★監 事 大嶋 俊治
- ★事務局長 徳沢 幸人
- ★事務局長補佐 菊地 克之
- ★書 記 松波 洋
- ★会計担当 立石 文
- ★広報委員会
  - 委員長 藤森 智子
  - 委 員 花澤 玲子、檜原 泰一
- ★同窓生支援委員会
  - 委員長 井上 芳信
  - 委 員 大嶋 俊治、檜原 泰一
- ★在校生支援委員会
  - 委員長 山川 貢平
  - 委 員 新井 明子、嶋崎 幸成
- ★会則検討委員会
  - 委員長 吉田 順治
  - 委 員 飛木 かおる、山本 好政、原田 健一、徳沢 幸人
- ★役員選考委員会
  - 委員長 新井 明子
  - 委 員 吉田 順治、徳沢 幸人、藤森 智子、嶋崎 幸成
- ★校友会担当 徳沢 幸人



明 治 学 院 大 学 同 窓 会

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37  
TEL03(5421)5190 FAX03(3441)0970  
E-mail: daigaku-dosokai@meijigakuin-dosokai.jp  
URL: <http://meigaku-dosokai.jp/mgu/>